



ほけんだより

2016年

3月 りすのき保育園 NO15

寒さも和らぎ、梅の花も咲き始め、春の気配が感じられるようになりました。

一人一人の成長をご家族とともに喜び、次へのステップへとつないでいきたいと思います。

今年度も様々な面で保護者の皆様に支えていただいたこと、心より感謝しています。

有難うございました。

今月の予定

身体測定 9日(水) 全園児

0歳児健診 18日(金) くるみの部屋

大池先生に診察していただきます。



園内でのインフルエンザの様子

2月に発症したインフルエンザB型は、17名・A型2名でした。ほとんど幼児の部屋でしたが、そこから、乳児の部屋に拡がることはありませんでした。

ご協力ありがとうございました。インフルエンザにかかってしまった方、どうぞお大事にしてください。体調が戻るのに少し時間がかかるようです。

今後も感染症予防に努めていきたいと思っています。

こりす展について

「コミュニケーションで育つ ～子どもの成長と発達～」

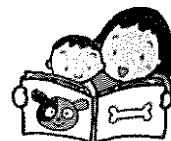
「耳」の発達を、成長の中で知り、異常の早期発見・早期治療につながればという思いもあり、展示いたしました。また、保健指導の内容を“かるた”にして、幼児の部屋ではみんなで言い、その時のかるたも展示しました。

お忙しい中、ご覧いただきありがとうございました。

小さい子どもは、大人が話す言葉を聞いて、言葉を真似して覚えます。きれいな言葉遣いで話かけるよう心掛けましょう。

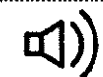
また、耳は、大きくなってからも、大きな音がいつも聞こえる環境では、耳が聞こえづらくなることもあります。

静かな環境をつくる事等、ご家庭でお話しするきっかけになると、嬉しいです。



お子さんの、こんな気になること ありませんか？

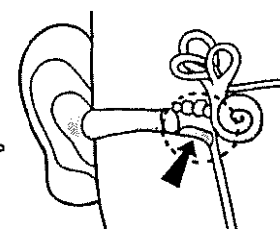
- ☒ 大きな音に驚かない
- ☒ 呼びかけても返事がなかったり、反応がにぶい
- ☒ 何度も聞き返す
- ☒ テレビの音を大きくする
- ☒ やたらと大きな声で話す(小さい声で話せない)
- ☒ 極端にか細い声で話す



耳が聞こえにくいサインかもしれません。

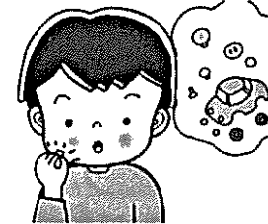
滲出性中耳炎

鼓膜の奥の、中耳腔というところに液体が溜まる中耳炎です。通常、中耳炎では激しい痛みを伴うのですが、滲出性中耳炎では熱や痛みがないことが多いです。耳が詰まったように聞こえにくくなります。



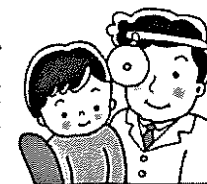
外耳道異物

子どもはおもちゃの小さなパーツや、豆、小石などを耳に入れてしまうことがあります。このような異物で聞こえにくくなることも。耳の中を傷つける恐れがあるので、無理に取り出さず、病院で取り除いてもらってください。



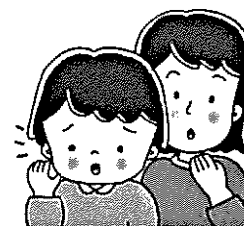
耳垢栓塞

耳あかが詰まってしまっている状態。意外にも、耳そうじを頻繁にする子ほどなりやすいです。耳の穴が狭いうちは耳そうじが難しく、子ども用の綿棒を使っても耳あかを逆に奥へ押し込んで固めてしまうことがあります。定期的に耳鼻科で耳そうじをしてもらう子もいます。



難聴

難聴については新生児スクリーニングもすすめられていますが、進行性の病気の場合など、あとから難聴が見つかることも。子どもの聴力を守るには早期発見、早期治療が大切です。おうちでも気になる場所があれば受診を。



今月も、元気に過ごせますように。